



令和6年第2回定例会代表質問

防災・環境・教育・福祉等、幅広く提言しました



本年6月3日、令和6年第2回定例会の初日に自由民主党議員団を代表して一般質問を行いました。文字にして約17000字の内容から、以下8項目に分けて抜粋を記載します。

防災・熱中症対策について

区内の各小中学校を会場に行う総合防災訓練「防災キャラバン」について、会場で水や保存食等の防災グッズを販売するほか、子育て世代等の幅広い方が有事に一役を担えるような仕組み作りを提言しました。また熱中症対策として、区内各地に設けるクールシェアスポット（6月報告時35か所）を民間施設も含め拡充させるとともに、区ニュースやのぼり等での周知を強化することを求めました。

子育て支援について

来年度に向け策定予定の「子ども・子育て支援事業計画」について、子どもや子育て当事者のニーズを的確に把握し、計画に反映させて実現させるよう求めました。また6月に上原地区で民設民営の子育て支援センターがオープンしたことを契機に、今後も民間の力を活用することや、空き定員が出て余剰のある区内保育園について施設の有効活用を図ることを提言しました。

施設運営について

来年4月より順次開設予定の本町学園第二グラウンド複合施設について、指定管理者制度が導入されても、「渋谷ほんまちクラブ」をはじめ地域で活動している団体が従前通り利用できるよう要望しました。また玉川上水旧水路緑道に整備する「FARM」に関しては、利用者間のコミュニティ強化から一歩進み、地域のより幅広い方が参画できる機会を設けるよう提言しました。

スポーツについて

一般社団法人渋谷ユナイテッドについて、中学校部活動の地域移行化を加速させるとともに、7月より体育協会と一体化してスポーツ協会となることを契機に、生涯スポーツの環境を更に整備させることを求めました。また来年行われる東京デフリンピックと東京世界陸上に向け、東京2020大会のレガシーを活かして機運醸成を図るよう提言しました。

福祉について

今年から敬老祝い金事業の訪問による贈呈が再開される等、民生委員の負担が大きくなっていることを踏まえ、活動費の増額による民生委員の待遇改善を提言しました。また今年度よりフレイル測定会を新規に行うこと为契机に、渋谷区で行っている各種介護予防事業を整理し、区民へ丁寧に周知していくよう求めました。



海外都市交流について

渋谷区は、本年5月にアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市と、6月にペルー共和国リマ市ミラフローレス区と姉妹都市協定を締結しました。観光やスポーツでの文化交流や教育など様々な分野において、商店街イベントの景品での旅行補助や、小中学生の海外派遣を行う等、具体的な施策を実施するよう提言しました。



学校建て替え後のプール設置について

渋谷区『新しい学校づくり』整備方針に基づき進める学校施設の建て替え計画では、一部の学校でプールの設置が予定されていないことが示されました。現在、本区の全区立小中学校でプールが設置されていることを踏まえ、屋内・温水プールに限らず、あらゆる選択肢も含め、プール配置の在り方について再検討するよう求めました。



放課後クラブについて

区立の全小学校で開設している放課後クラブについて、事業者選定に児童・保護者の意見をより反映させるよう要望するほか、DXの推進や継続プログラムの拡充等による質の向上を求めました。また夏休みといった長期休暇における配食サービスの拡充を提言とともに、給食室の放課後クラブ事業者への開放や学期中と同様の給食提供についても検討すべきと提言しました。



渋谷区議会議員 松本翔は、バランスのとれた施策を実現します